

# 一般会計予算

916億7,942万円(前年度比6.7%減)

市民一人当たり\*では48万500円

※住民基本台帳人口(3月1日現在。190,800人)で計算

制度融資預託金などを除いた

実質的な一般会計予算額

879億7,029万円

(前年度比6.5%減)

## 令和2年度予算のポイント

令和2年度の予算総額は、消防本部新庁舎やジムリーナをはじめとする大規模な建設事業の完了、国の政策により実施したプレミアム付商品券事業の終了などに伴い、前年度に比べて66億312万円、6.7%の減となりました。

また、財源不足に対応するため、市の貯金である財政調整基金を3億7千万円取り崩しましたが、財政計画における収支不足見込み額よりも19億円圧縮しました。

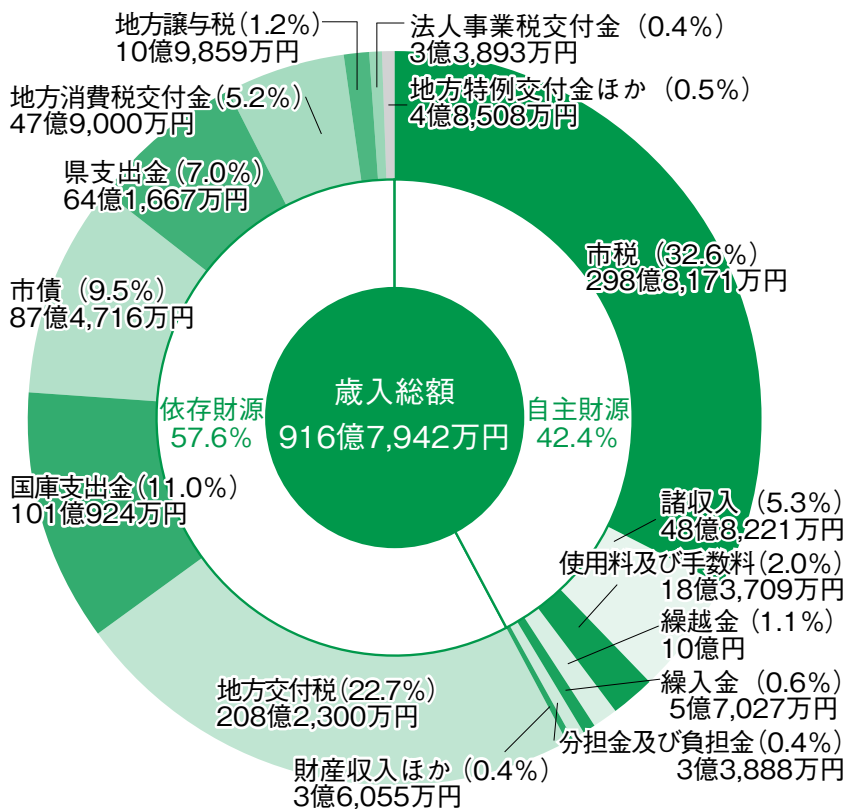
## 一般会計歳入

市税は、法人税割の税率引下げの影響などから、2.1%減の298億8千万円を見込んでいます。

地方消費税交付金は、地方消費税の増収に伴う配分額の増が見込まれることから、25.2%増の47億9千万円としました。

また、地方交付税のうち普通交付税は、合併算定替から一本算定への移行に伴う減少を見込む一方、新規費目の算入による増を見込み、0.5%増の178億4千万円としました。

このほか、市債は、大規模な施設整備が完了したことによる合併特例債の減少などにより、29.6%減の87億4千万円となりました。



## 財政調整基金残高(市の貯金)の状況

平成30年度末	令和元年度末(見込み)	令和2年度末(見込み)
104億2,004万円	100億5,575万円	101億8,510万円

## 市債残高(市の借金)の状況

消防本部新庁舎やジムリーナなど、大規模な施設整備が完了し、新規発行額が減少するため、令和2年度末の市債残高は、前年度から37億2千万円減少し、1,259億5千万円となる見込みです。

区分	平成30年度末	令和元年度末(見込み)	令和2年度末(見込み)
市債残高の状況	1,287億5,371万円	1,296億7,909万円	1,259億5,269万円
うち通常分	836億2,616万円	848億7,942万円	809億8,354万円
うち第三セクター等改革推進債を除く	739億5,688万円	759億9,475万円	729億6,040万円

※表示単位未満を省略しているため、合計と内容が一致しない場合があります。